

復興アクション 能登

No.10



創造的復興にむけた 10 のアクション

令和6年能登半島地震発生から2年の 社会資本整備の取組状況

北陸地方整備局



今後の精査等により変更となる場合があります。

能登半島地震やその後の大雨により被災したインフラの復旧が、被災地の生活や生業の再建、復興の芽となって地域を支える、10の復興アクションとしてまとめました。今回、地震発生から2年を迎え、取組状況を更新しました。

- ・ 道路復旧が観光振興を後押し 1
- ・ 能登半島絶景海道を自転車で疾走 2
- ・ 「道の駅」のつながりが復興を支援 3
- ・ 能登空港の応急復旧で首都圏との空路を確保 4
- ・ 護岸復旧の支援を通じた和倉温泉の生業の再開を後押し 5
- ・ 河川の応急復旧により地域の復旧を後押し 6
- ・ 緊急的な土砂災害対策により地域の復旧を後押し 7
- ・ 港湾を活用した災害廃棄物の海上輸送により復興事業を加速 8
- ・ トンネルの中にトンネル整備 ～地域の冬道確保～ 9
- ・ 復旧・復興に向けた地域のまちづくり・住まいづくりを後押し 10

※トピックス データで見る 令和6年能登半島地震発生
から2年の復旧・復興状況について

添付資料

ナンバーテンプラス ： 能登の復興アクション10項目以外も、更にその先へ。
能登（NOTO）のTOを10（トウ）と読み替え、10のアクションとしてまとめました。

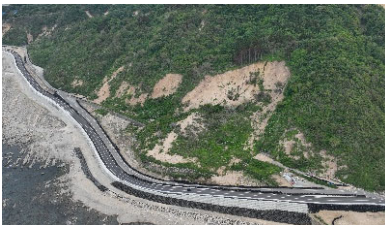
- 能登地域は魅力ある観光資源が各エリアに点在している
- 能登を巡る周遊道路の復旧により、地域間のトリップが増加し、観光振興に寄与

中屋トンネル工区の復旧状況



◆ 一般交通の通行確保 (R7. 7. 17)

千枚田工区の復旧状況



◆ 一般交通の通行確保 (R6. 12. 20)

大川浜工区の復旧状況



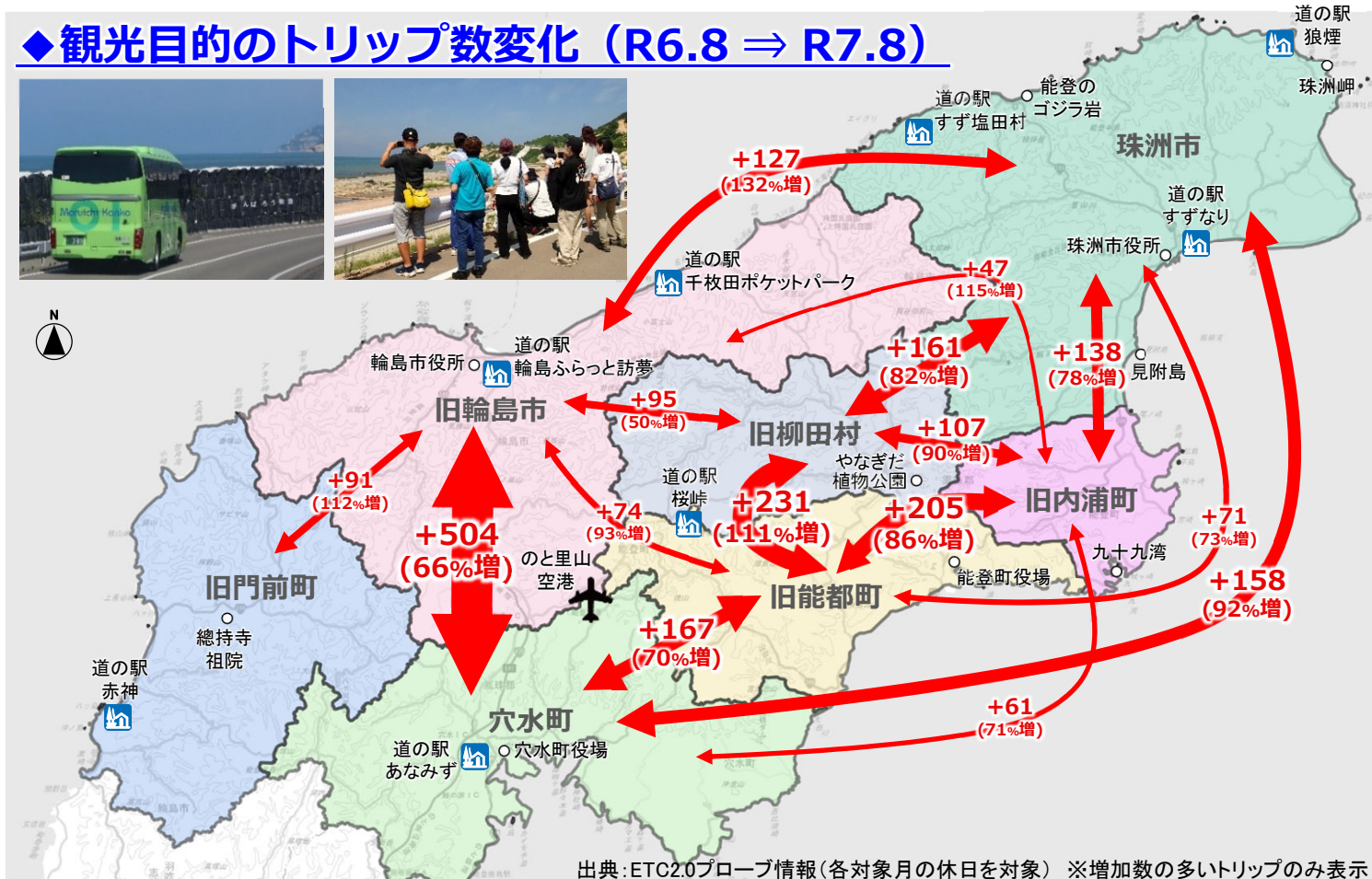
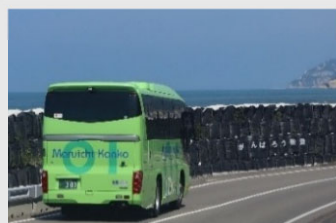
◆ 一般交通の通行確保 (R7. 4. 25)

逢坂トンネル工区

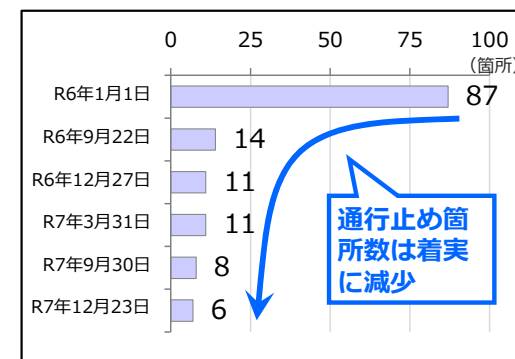


◆ 一般交通の通行確保 (R7. 12. 23)

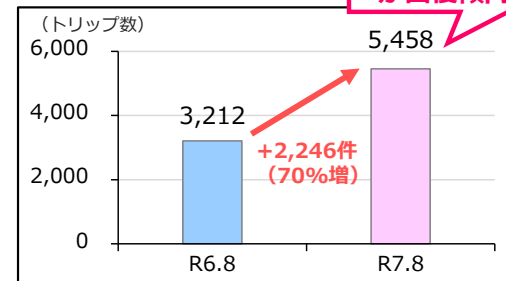
◆観光目的のトリップ数変化 (R6.8 ⇒ R7.8)



通行止め箇所数の推移 (県道以上)



総周遊トリップ数の推移



【観光目的トリップの定義】

- トリップとは、車がある地点からある地点へ移動する単位のこと
- 観光目的トリップとして小型車を対象とし、1日の始まりと終わりにおける移動距離が合計80km以上※の車両データを集計
- ※旅行・観光消費動向調査における旅行の定義(観光庁)

- 能登復興事務所が後援するツール・ド・のと400の特別企画「奥能登復興サイクル100」に全面協力
- 地域のみなさまや、道の駅、復旧工事業者とともに、地域全体でイベントを盛り上げる

奥能登復興サイクル100

令和7年9月15日（月・祝）

奥能登での100人規模の自転車イベントは
地震後、初開催



石川県オリジナル米「ひやくまん穀」で作ったおにぎりの提供、シャルマ[地元インドカレー店]協力 総持寺祖院と共同
開発した御朱印カレーの提供、穴水総合病院のメディカルサポートなど地域のみなさまとイベント運営に参加



「道の駅」すず塩田村協力
塩作り体験



前田建設工業(株)[近隣工事業者]
斜面・道路状況監視、
交通誘導員配置
ご厚意：ドリシク提供



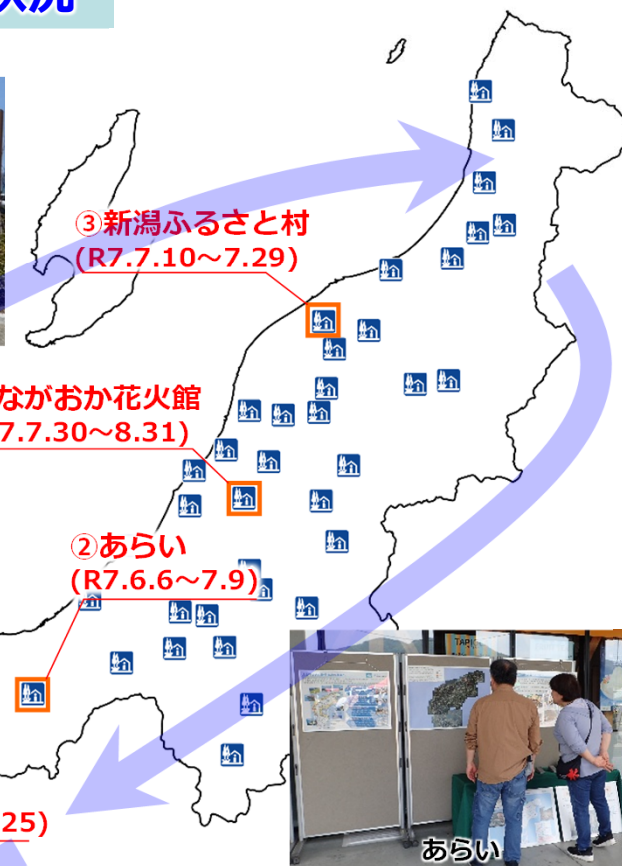
国交省 取組PR

※ツール・ド・のと400
能登半島の復興を目的とし、平成元年
(1989年)に第1回大会を開催。能登半島の
海岸線を3日間で一周するサイクリング大会。
総距離が400キロメートルを超えることから、
『ツール・ド・のと400』の大会名のもと、
国内最長級の大会として全国から多くのサイ
クリストが挑む
令和7年は金沢-中能登折返しコースで開催。
特別企画として国道249号輪島-珠洲押し返
しコースで開催。

- 「能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会」と北陸「道の駅」連絡会が協力し、能登半島沿岸部の「絶景海道」の魅力を発信するため、北陸3県の「道の駅」を対象としたリレーイベントを開催
- 能登の魅力を紹介するパネルや復興遺物の展示をリレー形式でつなぐことにより、復旧復興を支援



「道の駅」リレーイベント開催状況

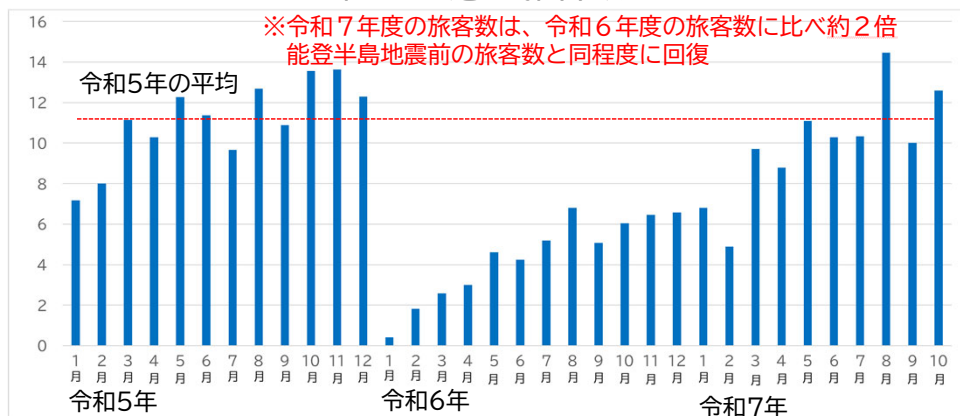


「道の駅」リレーイベント 出展内容



- 震度6強を観測した能登空港では、滑走路や誘導路等に多数の亀裂や損傷が生じるなど甚大な被害が発生。
- 円滑かつ迅速な復興のため、災害を受けた空港の施設の早急な復旧が必要であることから、大規模災害からの復興に関する法律に基づく権限代行により、空港管理者である石川県に代わって、北陸地方整備局が本格的な災害復旧工事を実施。
- 応急復旧により、令和6年1月27日から羽田との1日1往復運航が再開し、12月末までに延べ52,817人が利用。12月25日からは、地震前と同じ1日2往復に回復。
- 空港利用を継続し夜間工事で滑走路の復旧を進め、利用頻度の高い滑走路東側1,000mの基層の復旧を急ぎ、航空機により安全な離着陸が可能に。

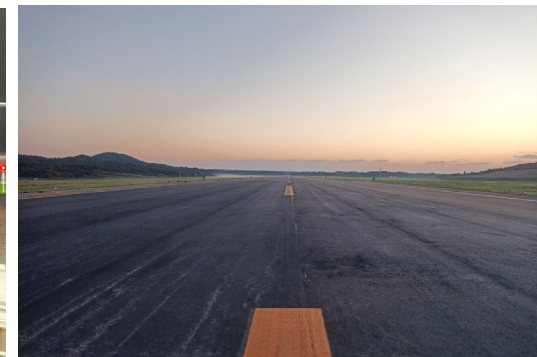
(千人) 能登空港の旅客数



出典：国土交通省大阪航空局及び石川県の統計情報をもとに北陸地整作成



夜間工事で復旧を進める



滑走路の東側1,000mの基層が完了

主な被災箇所

滑走路に多数の亀裂、着陸帯に段差、場周道路の陥没、調節池に亀裂、灯火の破損が生じるとともに、その他施設が被災。



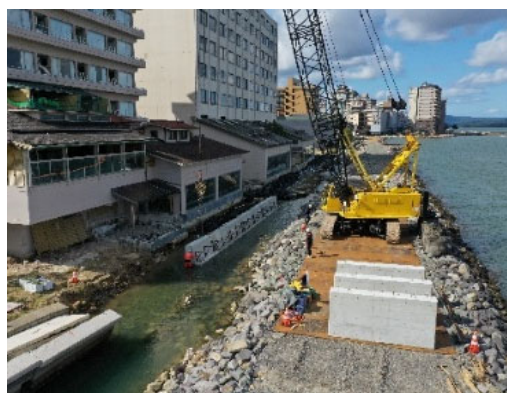
※上記以外に、排水溝、保安道路、場周道路、場周柵、調節池、のり面、道路駐車場も復旧施設の対象

- 能登半島地震により、和倉温泉において旅館やその付近の護岸が被災。
- 応急復旧が令和6年7月に完了後、本復旧は、令和6年9月に地元の旅館等関係者と国・県・市でとりまとめた「和倉温泉護岸復旧方針」に基づき、旅館を営む事業者が所有する民有護岸を公共帰属した上で、北陸地方整備局が一括して令和6年12月より現地復旧工事に着手し、令和7年9月末より護岸の新設工事を進めている。
- 引き続き、背後にある旅館の再建と歩調を合わせつつ、令和8年度中を目途に可能な限り早期の復旧を目指す。

護岸復旧工事の施工状況



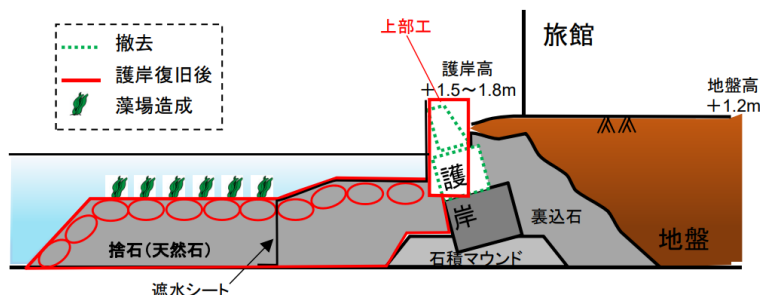
仮設道路整備(石材投入)



仮設道路から護岸設置

護岸復旧後のイメージ

※被災した護岸や土のうの一部を撤去し、護岸の上部工を設置。
仮設道路を下げて土留めとして利用し水面下に藻場造成。
(護岸の状況によっては、上部工が原位置より少し海側になる可能性がある。)



復旧工事の見学機会の創出

■ 和倉港海岸護岸は、観光協会の復興ツアーの見学箇所
の1つとして活用(R7.11
末時点で1,572名が見学)



一般見学エリアを設置、訪問者
によるSNSでの発信も

温泉旅館の位置図



営業再開の状況(9軒/20軒)(令和7年12月19日時点)

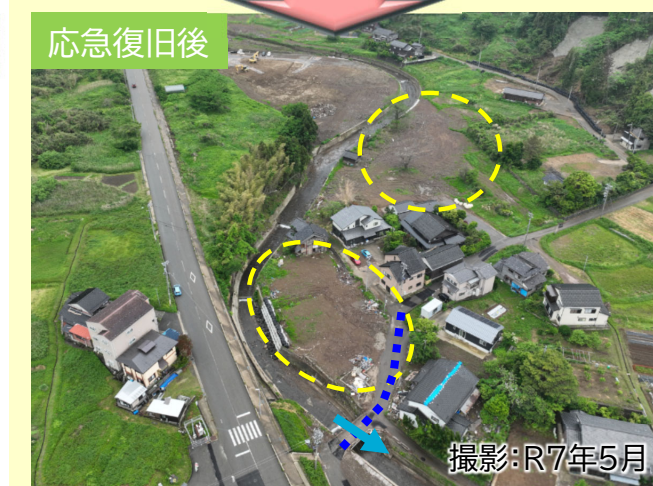
○ 花ごよみ	令和6年 5月 3日	営業再開
○ 宝仙閣	令和6年 7月 1日	営業再開
○ 湯の華	令和6年 8月 5日	営業再開
○ のと楽	令和6年11月 1日	営業再開
○ TAOYA和倉	令和7年 4月 12日	営業再開
○ はまづる	令和7年 8月 9日	営業再開
○ 能州いろは	令和7年10月 1日	営業再開
○ 美湾荘	令和7年 11月 11日	営業再開
○ 海望	令和7年12月 1日	営業再開

凡例： ：通常営業を再開した施設(9軒/20軒)
(令和7年12月19日時点)

：災害支援者向け宿泊施設として営業中の施設(11軒/20軒)
(令和7年12月19日時点)

和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合ホームページ情報をもとにした北陸地整調べ

- 令和6年奥能登豪雨により、塚田川では大量の土砂や流木が流出し、河道埋塞や施設損壊等が発生するとともに、沿川では浸水被害や家屋の損壊・流出被害が発生。
- 河川管理者である石川県の要請を受け、権限代行により北陸地方整備局が県に代わって緊急的な応急復旧工事を行い、令和7年5月末までに完了。
- 応急復旧等を進める上で支障となった沿川の土砂・流木を撤去しつつ、工事用道路の造成等により、被災地域へのアクセスが可能となり、被災家屋の公費解体や電力・水道等インフラ復旧を後押し。



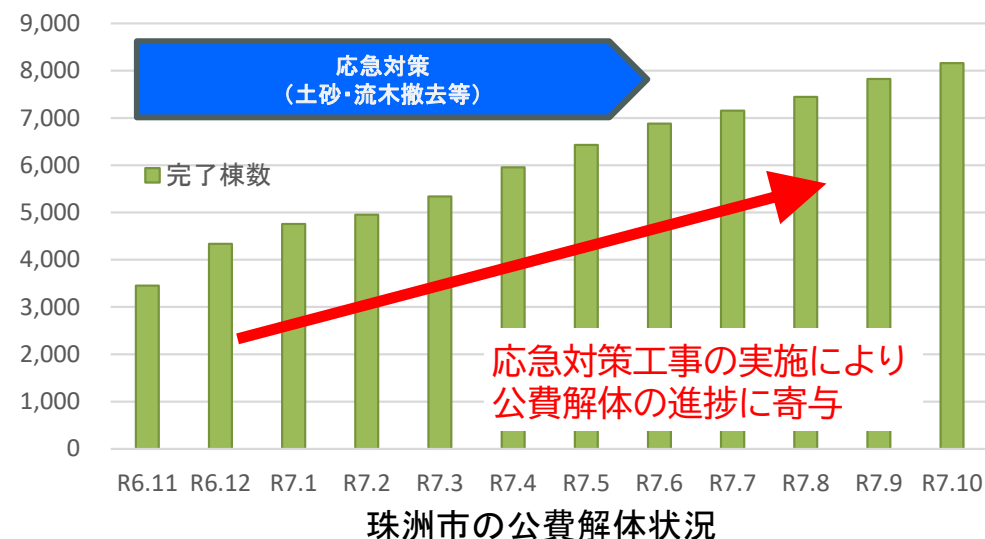
塚田川沿川での土砂流出及び工事用道路整備状況

土砂、流木撤去後、公費解体が進捗

工事用道路が造成されたことで
上水道の仮設配管工事が完了

- 令和6年能登半島地震により発生した地すべり及び令和6年奥能登豪雨により、珠洲市仁江地区では大量の土砂や流木が住宅地へ流出。
- 国直轄施工により流出土砂の撤去や被災した護岸の応急復旧等の暫定的な安全確保のための応急対策を実施し、令和7年5月末までに完了。
- 土砂や流木を撤去することで住宅地への進入路が確保され、被災した家屋の公費解体や電力復旧を後押し。

仁江地区全景



(出典: 石川県公表の公費解体進捗状況をもとに作成)

令和6年奥能登豪雨後



応急対策中



応急対策後(公費解体完了)



土砂・流木撤去(応急対策)【国】と公費解体【市】の作業状況

- 石川県からの要請を受け、港湾法第55条の3の3の規定に基づく管理代行の一環として北陸地方整備局が実施した応急復旧により暫定的に利用可能となった宇出津港や飯田港の係留施設を活用して、令和6年7月よりリサイクルポートである姫川港に災害廃棄物(木くず)の海上輸送を開始。海上輸送された災害廃棄物は、木質バイオマス発電施設やセメント製造施設の原燃料として活用。
- 海上輸送を活用した災害廃棄物の搬出は、能登半島の本格的な復興事業を加速させるとともに、受入側の港でも産業活動の燃料として再利用され、リサイクル施策の推進にも大きく貢献。
- 飯田港の岸壁(水深5.5m)と物揚場(水深4.0m)は、被害が大きく原位置復旧が困難、岸壁(水深5.5m)の復旧位置を変更し、公費解体で発生したコンクリート殻や災害復旧工事で発生した土砂を活用し、新たな埋立地を造成。

【令和6年7月11日から開始】 【令和6年7月30日から開始】 【令和6年10月19日から開始】 【令和6年12月10日から開始】



各港における災害廃棄物(木くず)積み込み状況

海上輸送



飯田港岸壁(水深5.5m)の復旧



位置図

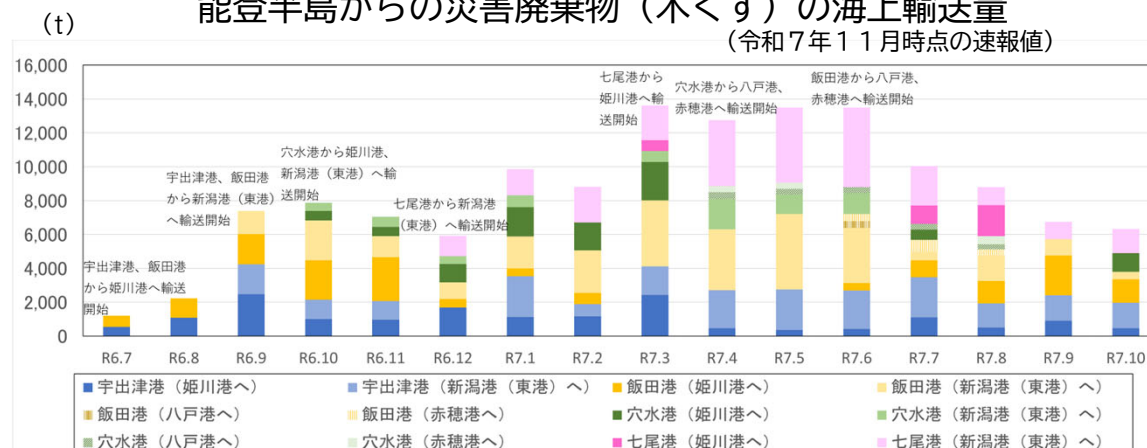
出典：国土地理院HP (<https://maps.gsi.go.jp/>)
の地図を活用し北陸地方整備局が作成

木質バイオマス発電施設や
セメント製造の原燃料として活用



出典：左上写真は明星セメント(株)HPより引用

能登半島からの災害廃棄物(木くず)の海上輸送量
(令和7年11月時点の速報値)



※令和6年9月から新潟港(東港)へ搬出、10月から穴水港、12月から七尾港からの海上輸送を開始。
令和7年4月から八戸港(青森県)、赤穂港(兵庫県)に海上輸送を開始。

○通行止となっている国道249号大谷トンネル区間で、住民から「迂回路は凍結し、冬は運転が怖い」と意見あり
○天井の仮復旧が終わったトンネル内に鋼鉄製防護壁を設け、1車線分の「トンネル内トンネル」として通行を確保

今冬限定 地元住民や緊急車両のみ片側交互で通行可能



- 液状化対策については、金沢市で実証実験が終了し、令和7年12月から液状化対策工事に着手。
令和7年12月時点で、内灘町やかほく市、羽咋市、射水市においても実証実験に着手済み。
 - 復興まちづくり計画等に基づく事業も進められ、輪島市では土地区画整理事業を実施予定。
 - 住まいの再建に当たっては、穴水町・七尾市・羽咋市・氷見市の最も早い地区で、計約170戸程度の災害公営住宅の建設工事に着手済み。最も入居時期が早い地区では、令和8年夏頃に入居予定。
- ⇒液状化対策や復興まちづくり、災害公営住宅の整備に係る支援を通じて、復旧・復興に向けた地域のまちづくり・住まいづくりを後押し

復興まちづくりに関する
ワークショップの様子
(輪島市)



土地区画整理事業等による
整備イメージ
(輪島市)



災害公営住宅の施工状況・
完成イメージ
(穴水町)



トピックス

データで見る

令和6年能登半島地震発生から2年の復旧・復興状況について

令和6年能登半島地震の概要	1
令和6年能登半島地震の被害概要	2
奥能登豪雨の概要	4
奥能登豪雨の被害概要	5

主な復旧、活動の経緯

生業等の再開・再生

輪島公共職業安定所(ハローワーク輪島)の有効求人倍率	6
石川県(小木港)における水揚量の推移	7
石川県における鉄道輸送人員の推移	8
石川県における乗り合いバス輸送人員の推移	9
能登空港の利用者数	10

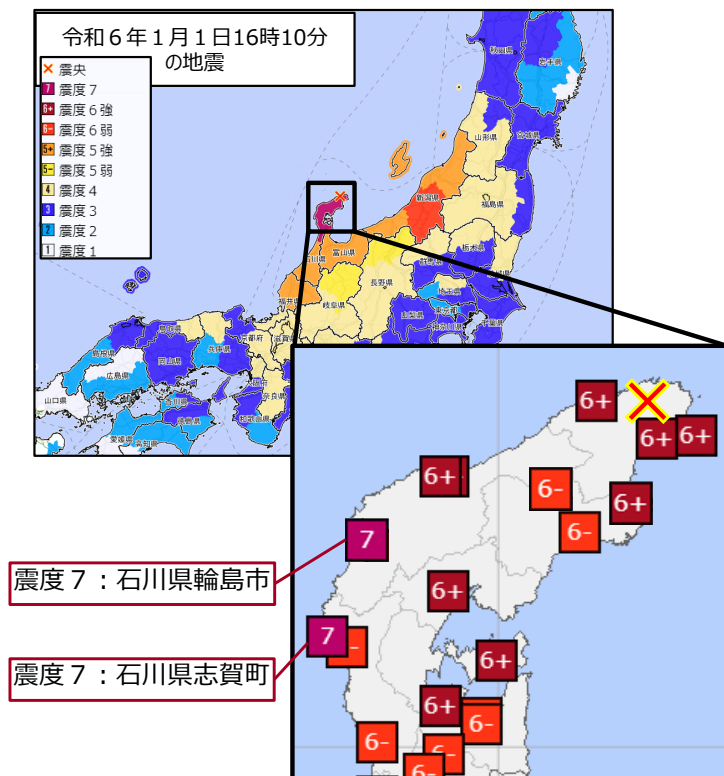
インフラ復旧の支援や活動

石川県における延べボランティア活動者数の推移	11
石川県における公費解体の推移	12
石川県における災害廃棄物の推移	13
災害復旧工事の累計契約数	14

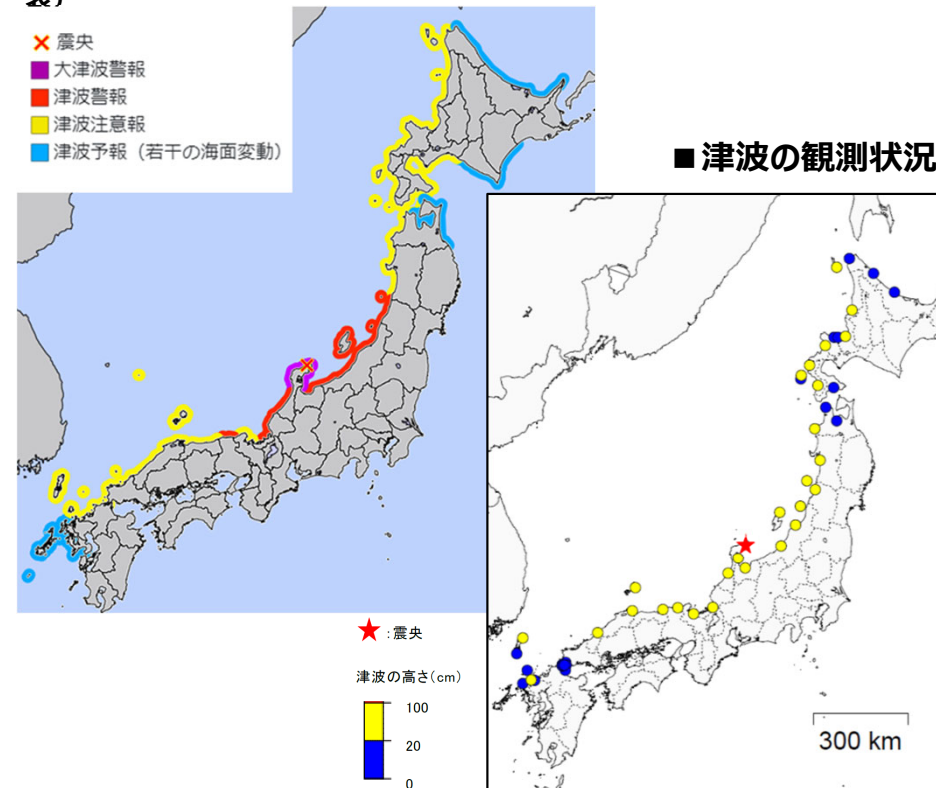
令和6年能登半島地震の概要（令和6年1月1日16時10分の地震）

- 令和6年（2024年）1月1日16時10分にマグニチュード（M）7.6、深さ16kmの地震が発生し、石川県輪島市（わじまし）、志賀町（しかまち）で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測。
- この地震により石川県能登に対して大津波警報を、山形県から兵庫県北部を中心に津波警報を発表し、警戒を呼びかけ。
- 気象庁では、1月1日のM7.6の地震及び令和2年（2020年）12月以降の一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

■震度分布図



■津波警報等発表状況（令和6年1月1日16時22分発表）



令和6年能登半島地震の被害概要（令和6年1月1日16時10分の地震）

■ 人的被害（人）

	死 者	うち 災害関連死	負傷者	行方不明者
新潟県	6	6	54	0
富山県	7	7	58	0
石川県	684	456	1,277	2
合 計	697	469	1,389	2

注.新潟県:R7年11月28日時点、富山県:R7年8月20日時点、石川県:R7年12月23日時点



〔輪島市内の火災被害〕

【写真】石川県創造的復興プラン(石川県)

■ 避難者数（人）

	最大避難者数	解消日
新潟県	84	R6年3月7日
富山県	767	R6年1月26日
石川県	34,173	R7年3月31日
合 計	35,024	—

注.新潟県では、R6年3月7日以降は避難に関する発表なし



〔避難所の様子(七尾市)〕

【写真】石川県創造的復興プラン(石川県)

【出典】 令和6年能登半島地震による被害状況一覧(新潟県HP)
令和6年能登半島地震に係る県内被害状況(人的被害・住家被害等)(富山県HP)
目的別・令和6年(2024年)能登半島地震に関する情報(復旧・復興本部、災害対策本部)(石川県HP)

令和6年能登半島地震の被害概要（令和6年1月1日16時10分の地震）

■ 住家被害（戸）

	全壊	半壊	一部損壊	床上・床下 浸水	計
新潟県	111	4,156	21,134	14	25,415
富山県	258	808	21,748	0	22,814
石川県	6,168	18,726	91,553	11	116,458
合 計	6,537	23,690	134,435	25	164,687

注.新潟県：R7年11月28日時点、富山県：R7年8月20日時点、石川県：R7年12月23日時点



〔建物の倒壊（輪島市）〕

〔写真〕石川県創造的復興プラン（石川県）

■ 生活インフラ（戸）

	電 気		水 道	
	最大停電戸数	復旧日	最大断水戸数	復旧日
新潟県	31	R6年1月2日	公表なし	R6年1月2日
富山県	公表なし	—	18,937	R6年1月21日
石川県	約45,700	R6年3月19日	95,491	R6年5月31日
合 計	約45,731	—	114,428	—

注.石川県は安全面に懸念のある住家を除いた復旧日

〔出典〕 令和6年能登半島地震による被害状況一覧（新潟県HP）
令和6年能登半島地震に係る県内被害状況（人的被害・住家被害等）（富山県HP）
目的別・令和6年（2024年）能登半島地震に関する情報（復旧・復興本部、災害対策本部）（石川県HP）

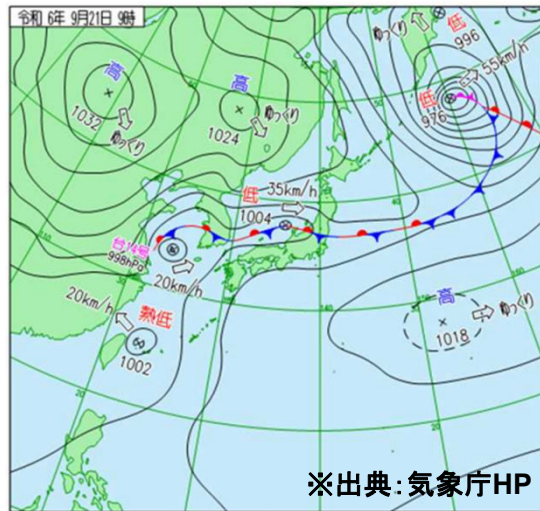


〔給水支援（能登町）〕

〔写真〕北陸地方整備局

奥能登大雨の概要（令和6年9月20日からの豪雨）

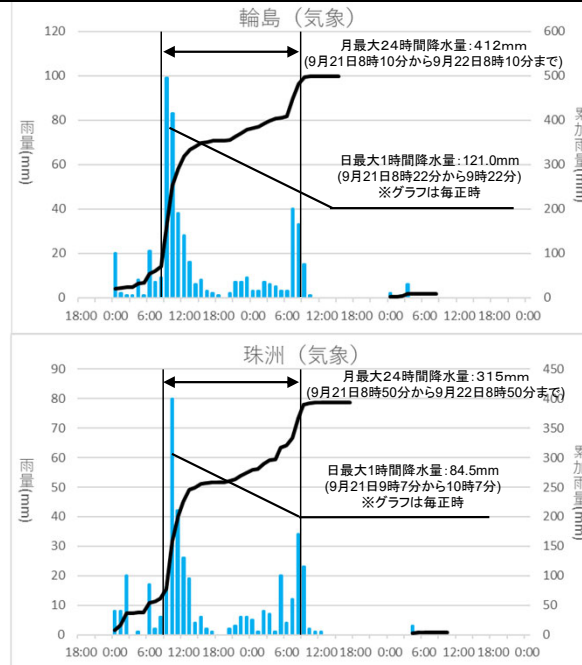
- 令和6年9月20日夜から降り始めた雨は、9月21日から22日にかけて、日本海の低気圧や前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定になり石川県能登では記録的な大雨となった。
- 気象庁において、21日9時00分時点で大雨の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分先の解析）を確認したことから、21日9時7分に「顕著な大雨に関する石川県気象情報（第1号）」が発表され、浸水害による危険度がさらに高まったことから、21日10時50分には、輪島市、珠洲市、能登町に「大雨特別警報（浸水害）」が発表された。
- この期間の日最大1時間降水量は輪島で121mm（9月21日）、珠洲で84.5mm（9月21日）、月最大24時間降水量は輪島で412mm（9月21日8時10分から9月22日8時10分まで）、珠洲で315mm（9月21日8時50分から9月22日8時50分まで）となり統計開始以来1位となった。



地上天気図（9月21日09時）

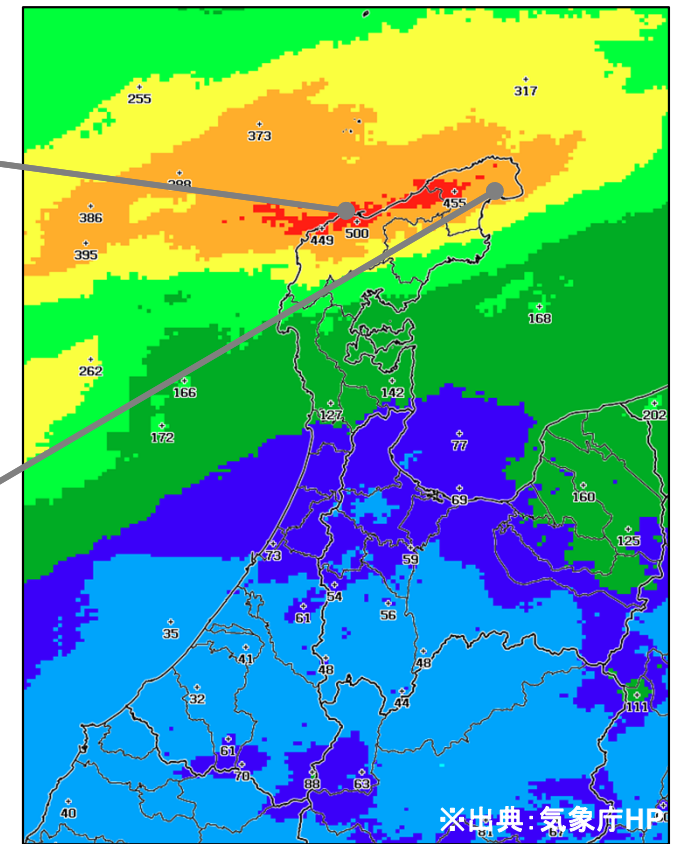
月最大24時間降水量
（過去最大値との比較）

地点	今回の豪雨		これまでの1位の値	
	mm	年月日 時分(まで)	mm	年月日
輪島（ワジマ）	412	2024/9/22 8:10 (R6.9.22)	220	2005/6/28 (H17.6.28)
珠洲（スズ）	315	2024/9/22 8:50 (R6.9.22)	195	1997/6/29 (H9.6.29)



日最大1時間降水量
（過去最大値との比較）

地点	今回の豪雨		これまでの1位の値	
	mm	年月日 時分(まで)	mm	年月日
輪島（ワジマ）	121	2024/9/21 9:22 (R6.9.21)	73.7	1936/9/15 (S11.9.15)
珠洲（スズ）	84.5	2024/9/21 10:07 (R6.9.21)	73	2007/8/22 (H19.8.22)



積算解析雨量分布図
（9月21日00時から9月23日24時）

令和6年9月20日からの大雨による被害

■ 人的被害（人）

死 者	負傷者	行方不明者
20	47	0

■ 避難者数（人）

最大避難者数	解消日
1,453	R7年4月13日

■ 住家被害（戸）

全壊	半壊	一部損壊	床上・床下 浸水	計
82	659	159	1,002	1,902

■ 生活インフラ（戸）

電 気		水 道	
最大停電戸数	復旧日	最大断水戸数	復旧日
約6,650	R6年10月21日	5,216	R6年12月20日

注、電気は安全確保等の観点から電気の利用ができない者を除いた復旧日 水道は安全面に懸念のある住家を除いた復旧日

【出典】 令和6年（2024年）奥能登豪雨に関する情報（石川県HP） R7年12月23日時点

電気の復旧：電気設備自然災害等対策ワーキンググループ2024年12月19日 第22回資料（経済産業省HP）

水道の復旧：市内断水状況（珠洲市HP） R7年9月21時点



〔被害状況（輪島市 塚田川）〕

【写真】北陸地方整備局



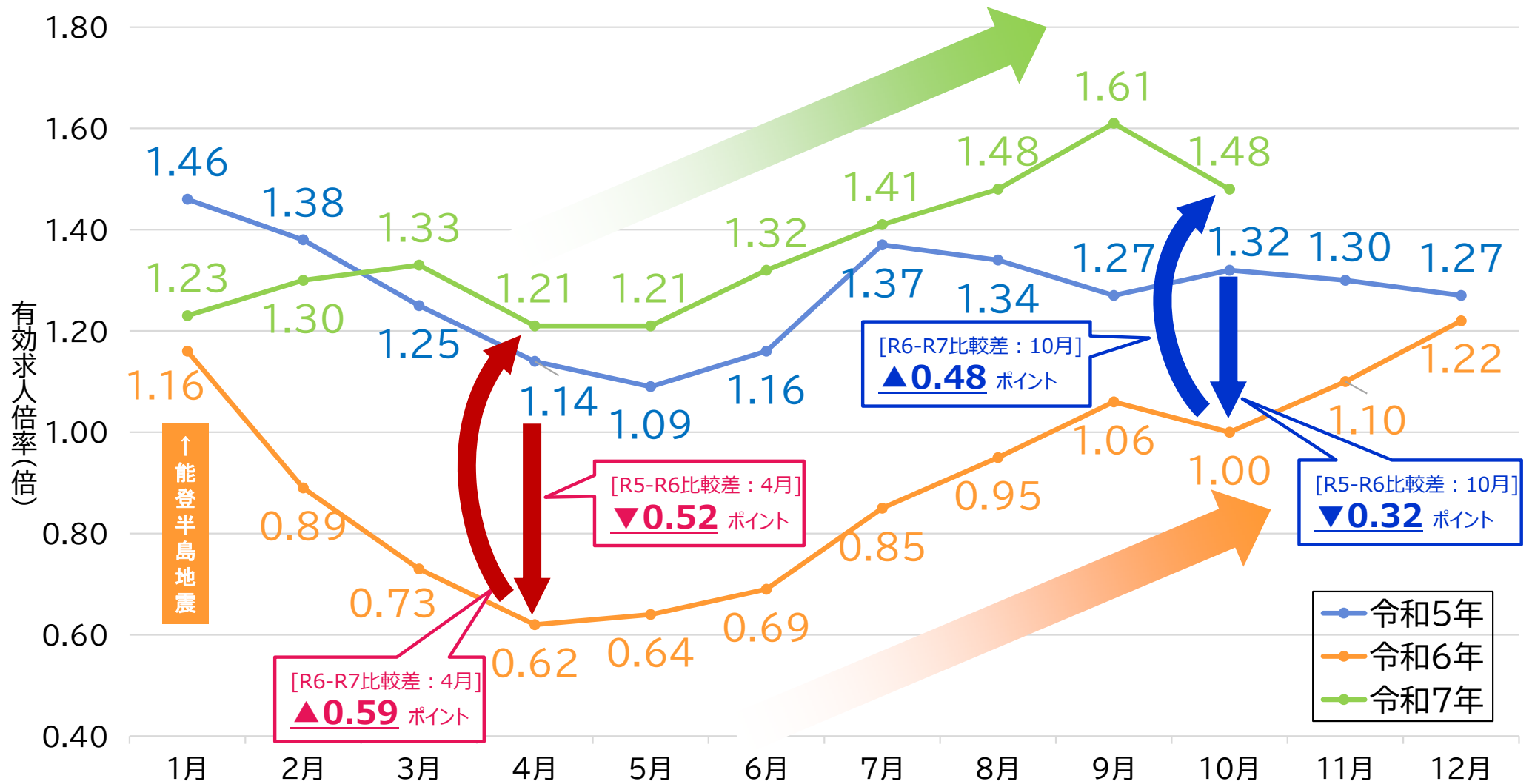
〔照明車からの電源支援（珠洲市）〕

【写真】北陸地方整備局

主な復旧、活動の経緯 <生業等の再開・再生>

■ 輪島公共職業安定所(ハローワーク輪島)の有効求人倍率[月別]

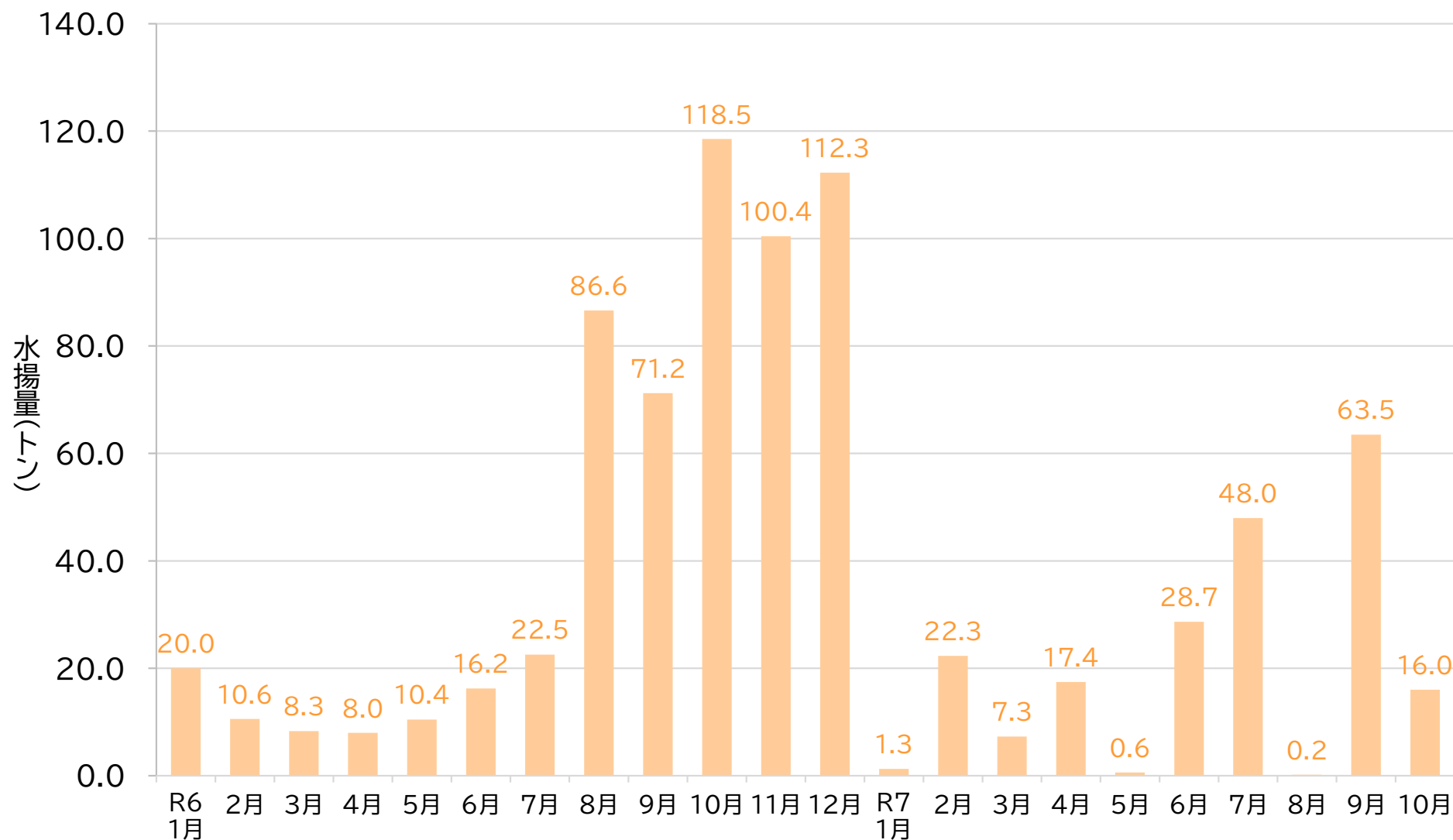
※ハローワーク輪島の管轄区域:輪島市、穴水町



注.グラフで示している有効求人倍率は季節調整を行っていない原数値

【出典】最近の雇用失業情勢(厚生労働省石川労働局)より集計・作成

■ 石川県(小木港)における水揚量の推移[月別]



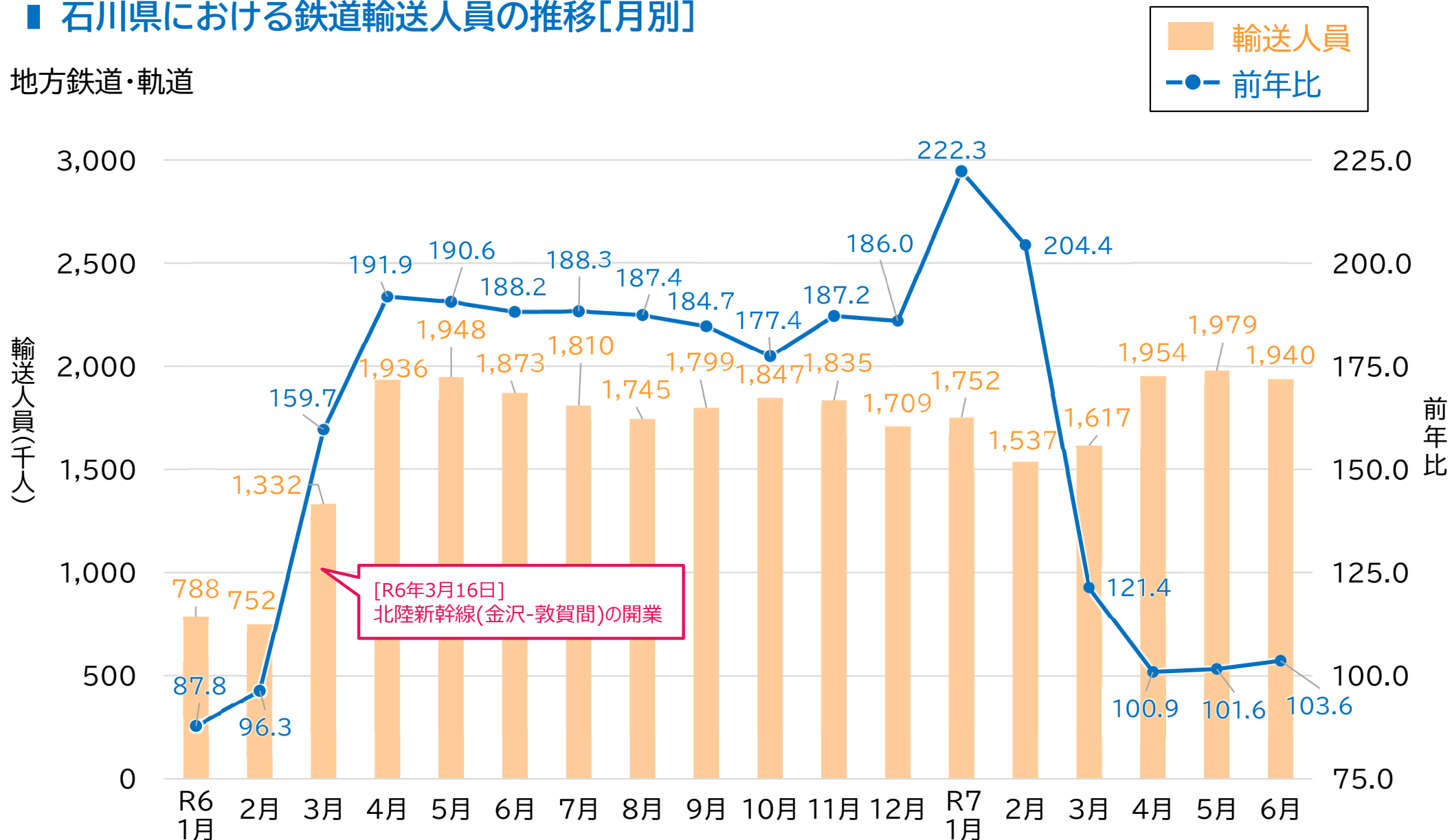
注.品目は、くろまぐろ(生・冷)、みなみまぐろ(冷)、びんなが(生・冷)、めばち(生・冷)、きはだ(生・冷)、まかじき(生・冷)、かつお(生・冷)、まいわし、うるめいわし、かたくちいわし、まあじ、むろあじ、さば類、さんま、たら(生)、すけとうだら(生・冷)、ほっけ、するめいか(生・冷)、あかいか(生・冷)、ぶり類、かれい類(生)、まだい、ずわいがに、たこ類

【出典】水産物流通調査(水産庁)

主な復旧、活動の経緯 <生業等の再開・再生>

■ 石川県における鉄道輸送人員の推移[月別]

地方鉄道・軌道



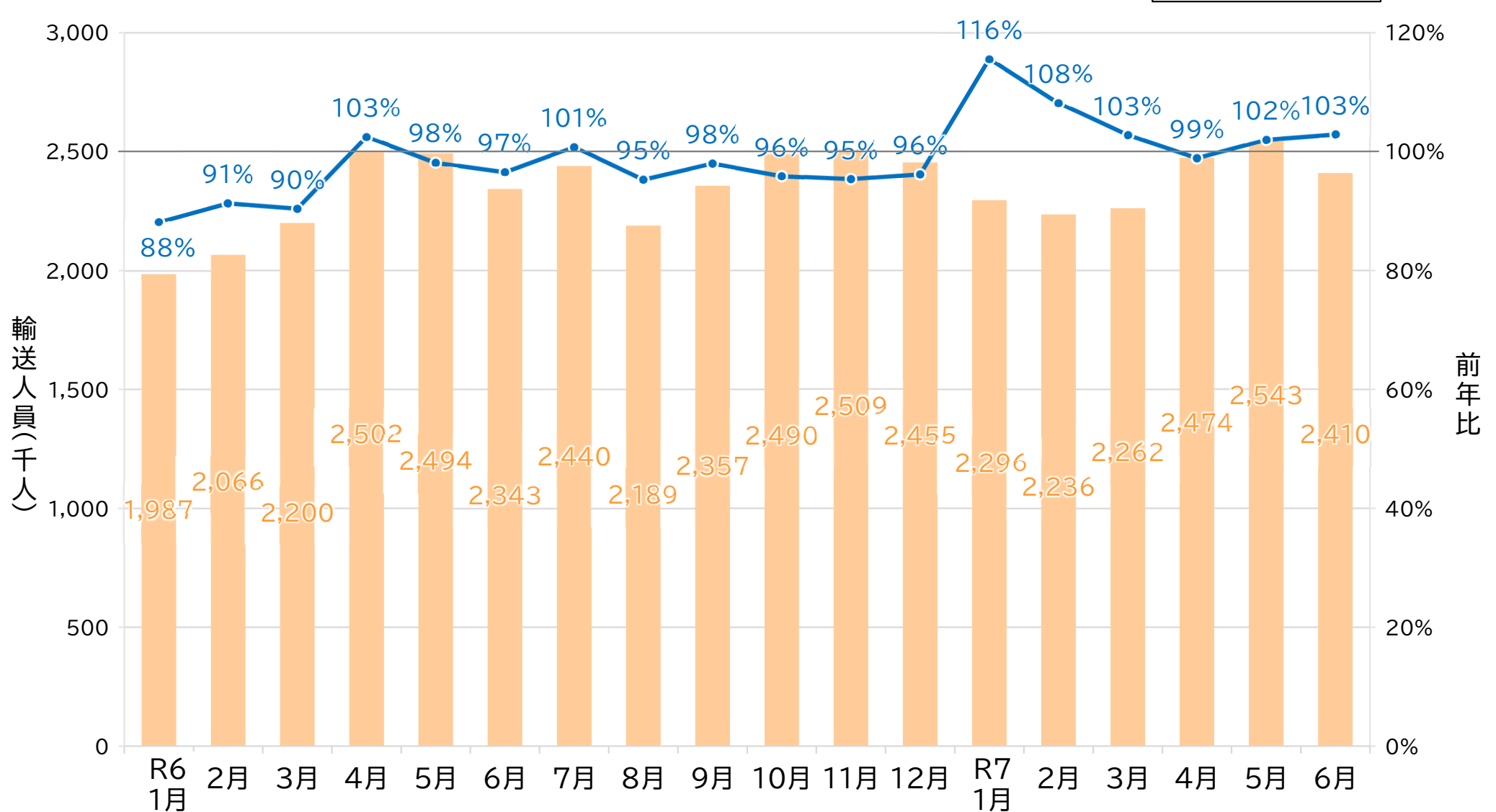
※輸送人員は地方鉄道・軌道(JRは含まない)

注.3月からの輸送人員(前年比)の増加は、R6年3月16日の北陸新幹線金沢-敦賀間の開業に伴い、並行路線のJR北陸本線がIRいしかわ鉄道に移行され、地方鉄道の輸送人員としてデータに計上されたものと考えられる。

【出典】 令和7年 北陸信越の運輸の動き(北陸信越運輸局)

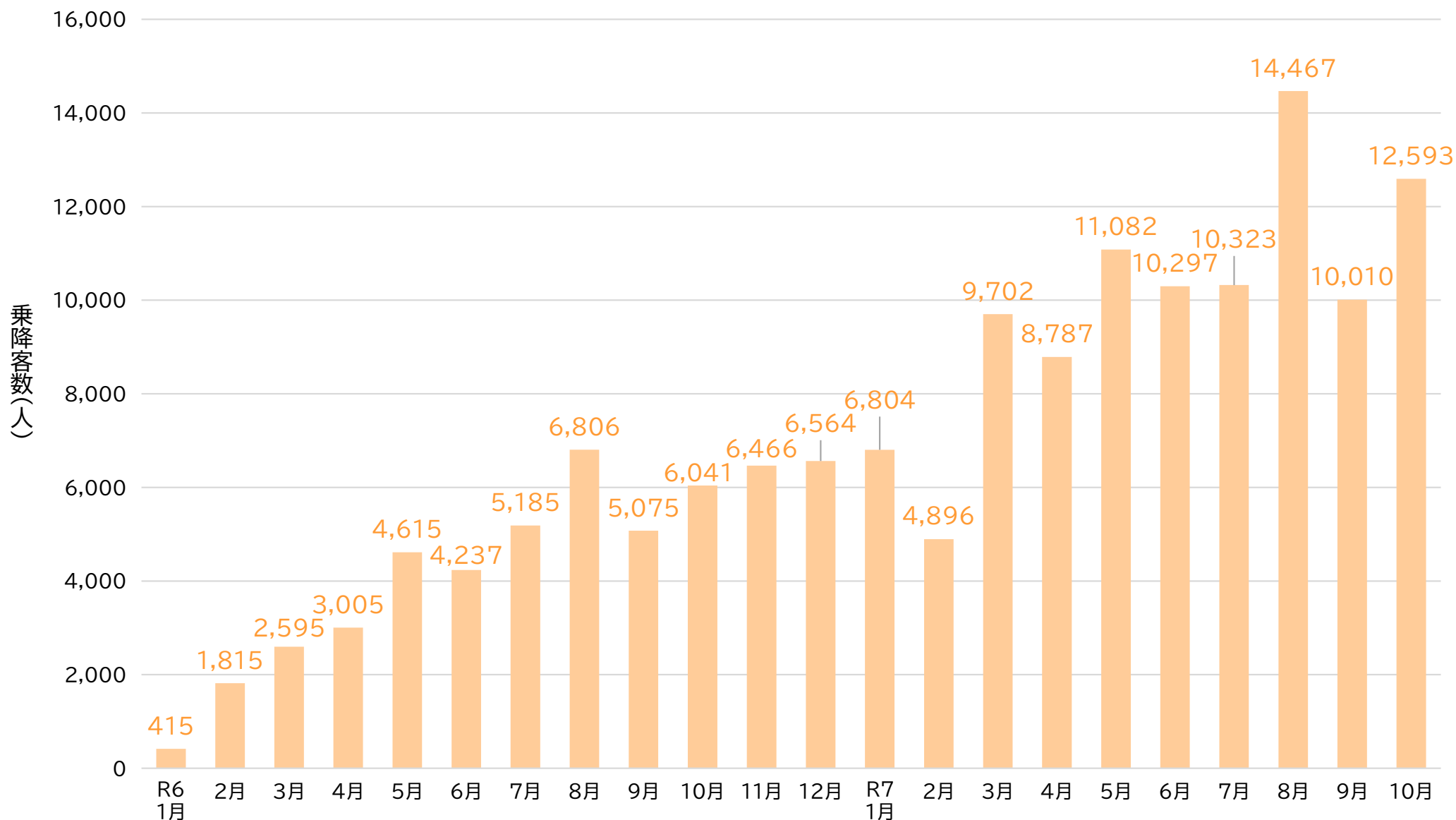
主な復旧、活動の経緯 <生業等の再開・再生>

■ 石川県における乗り合いバス輸送人員の推移[月別]



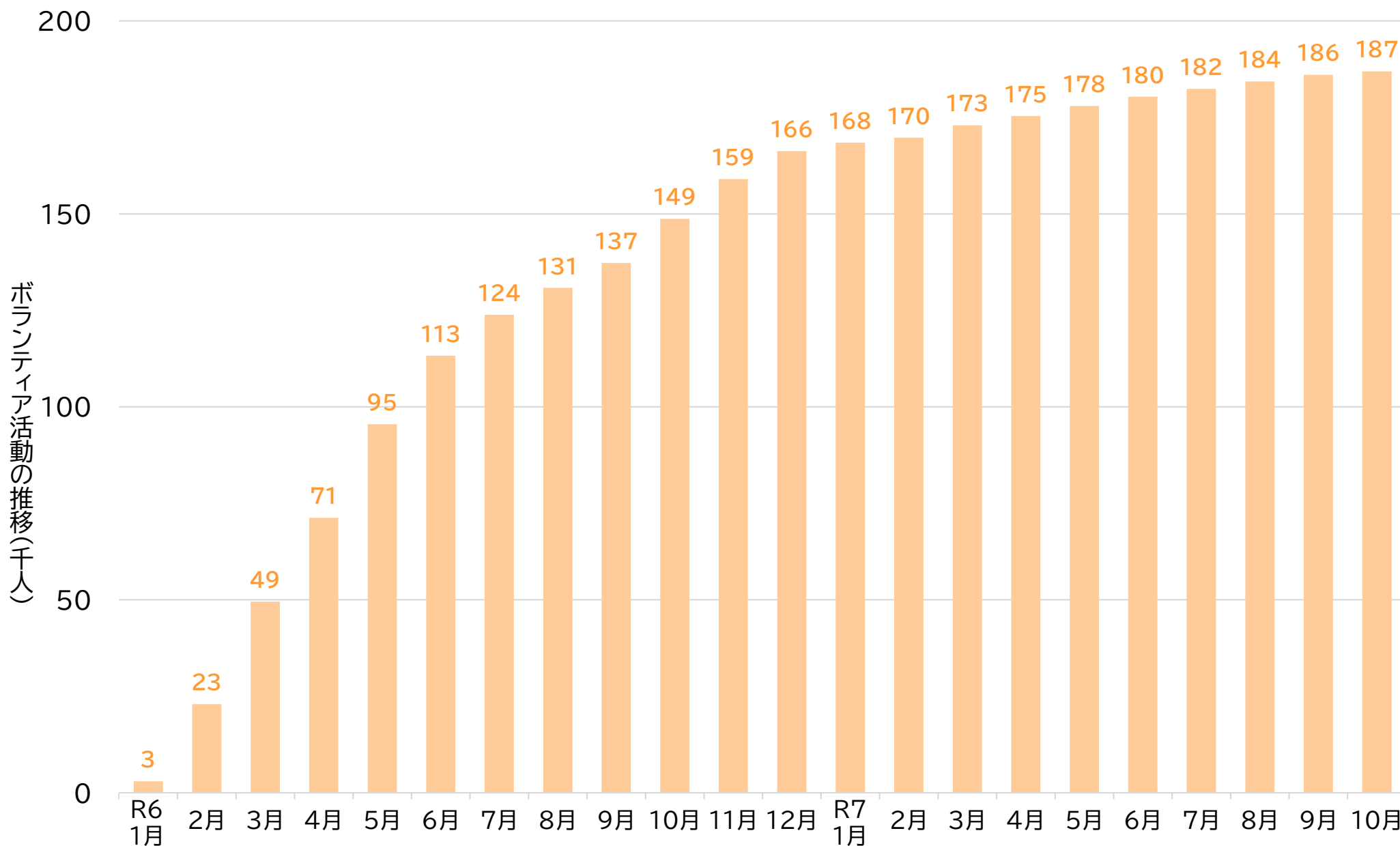
【出典】 令和7年 北陸信越の運輸の動き(北陸信越運輸局)

■ 能登空港の利用者数[月別]



【出典】管内空港の利用概況集計表(国土交通省大阪航空局)

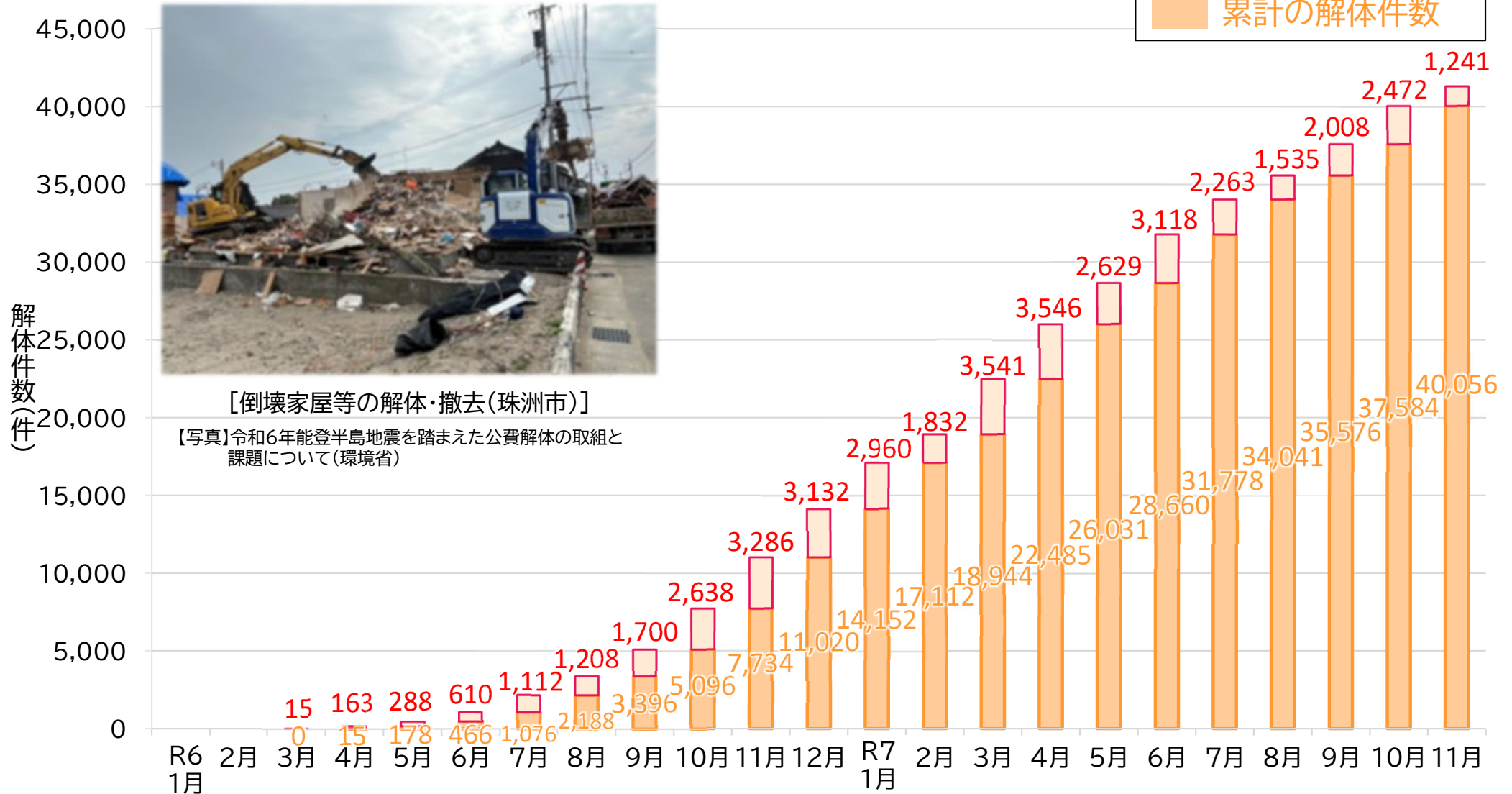
■ 石川県における延べボランティア活動者数の推移[月別]



【出典】 令和6年能登半島地震(9月20日からの大津波災害を含む)

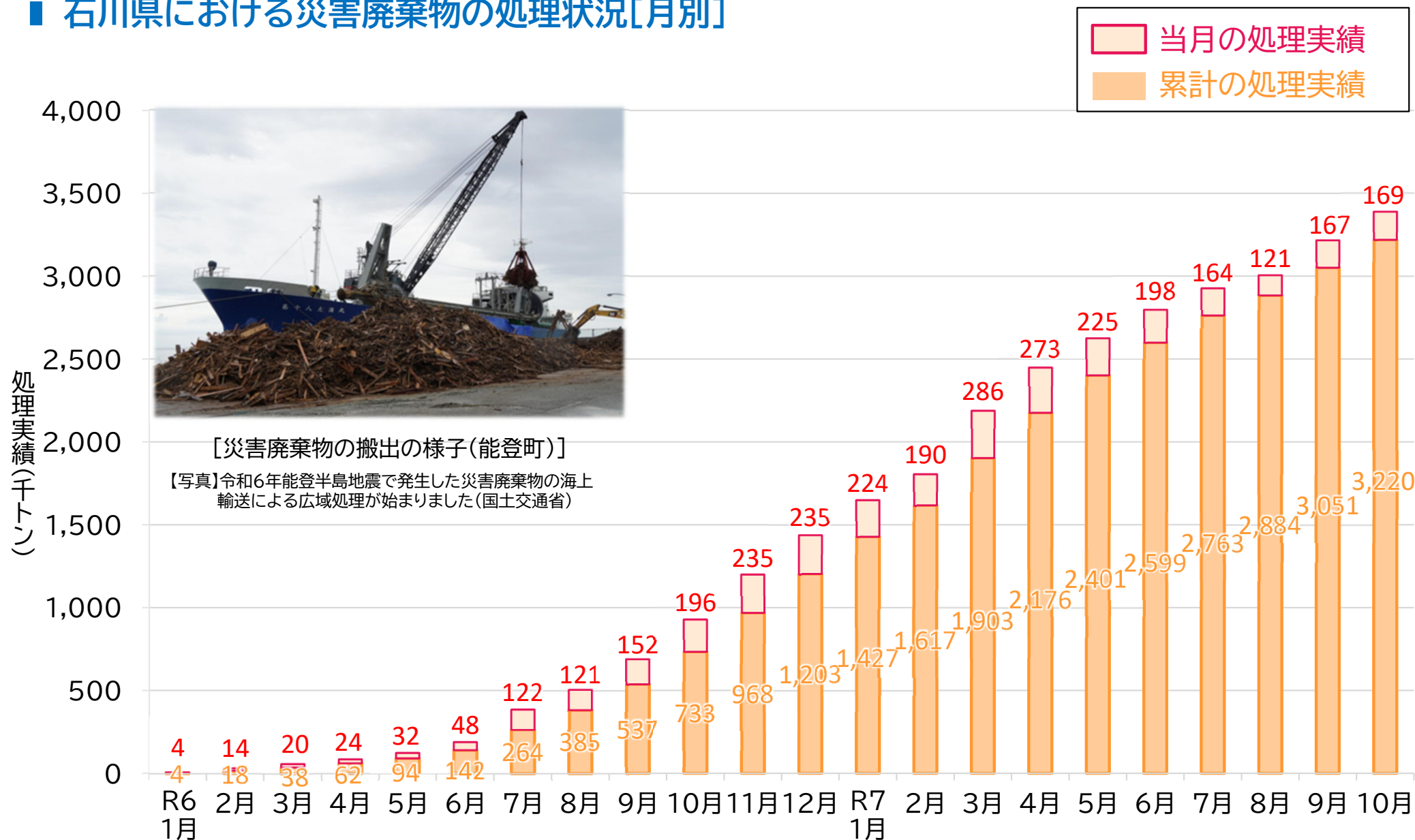
2025年10月25日までの延べボランティア活動者数(社会福祉法人 全国社会福祉協議会)

■ 石川県における公費解体の推移[月別]



【出典】 公費解体の進捗状況(令和7年11月末)(石川県)
災害廃棄物処理(公費解体)の推進について(環境省)

■ 石川県における災害廃棄物の処理状況[月別]



【出典】 災害廃棄物の処理状況(令和7年10月末)(石川県)

主な復旧、活動の経緯 <インフラ復旧の支援や活動>

■ 災害復旧工事の累計契約数

(災害協定に基づく随意契約、一般競争／業務除く)

